



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／小野 仁
- 副会長／宮坂宥澄・佐藤有司
- 幹事／山岸邦太郎
- 会報・雑誌・広報委員長／林 尚孝

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F
Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939・URL:<http://okayarc.org>・E-mail:okayarc@amber.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2562 回例会 2012 年（平成 24 年）3 月 27 日（火）

点 鐘：小野 仁

司 会：中畑隆一

斉 唱：我等の生業

ラッキーNo.：No.10 藤森睦美

会長挨拶

春は別れと、新しい出会いの季節です。

そんななか、一部の大学が9月入学を検討しており、5年後には実施になるかもしれません。たしかに多くの国は9月入学で、日本は少数派のようです。留学にも便利みたいです。

日本も大正の中ごろまでは秋入学だったようですが、国の会計年度に合わせて4月になった経緯があります。しかし桜の下での卒業・入学が当たり前として育った私たちにとって、真夏の卒業式とか入学式には違和感があるかもしれません。

会長報告

- ・ 3/19 の中畑隆一会員の御尊父様のご葬儀に幹事と共に参列させていただきました。ご冥福をお祈り申し上げます。また、遺志金をいただきましたので、ご報告致します。
- ・ 米山奨学生の世話クラブの依頼がありました。カウンセラーは井上保子会員にお願いします。
米山奨学生＝2012年4月～2013年3月 劉 曉紅さん(中国) 諏訪東京理科大学

中畑隆一会員挨拶

先般、父の葬儀に際しましては、会長・幹事はじめ会員の皆様にお忙しい中をご焼香頂き、またご芳志を賜りありがとうございました。生前父がお世話になりました皆様方に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

幹事報告

- ・今年度は諏訪グループ会員名簿の作成を行います。つきましては次週より例会日に名簿用の写真を撮ります。よろしくお願いいたします。
- ・4月のRレート 1\$82円

例会変更

松本西南 RC=4/17(火)夜間例会に変更。ビジター受付は12時~13時例会にて。

退会挨拶 笠原祥一会員

3/29付けをもって退社する事になりました。退社に伴いクラブも退会する事になりました。5年弱と短い期間でしたが素晴らしい皆さん方の仲間に入れていただき感謝するとともに、お世話なりありがとうございました。皆さんに出られる時は出てこいと言って頂きましたので、今期中はできるだけ出て来たいと思います。ありがとうございました。

委員会報告

国際奉仕委員会 埔里 RC 訪問の反省会を4/14(土) 18:00 湖苑で行います。改めて事務局よりご案内をしますが、よろしくお願いいたします。

次期幹事 4/8(日)の地区協議会へ参加の方はホテル岡谷を8:45にバスが発発します。8:30までに集合して下さい。終了後、岡谷に戻り勉強会をします。よろしくお願いいたします。

卓話「徳本薬草のまち岡谷」




環境省 環境カウンセラー
武井 末子様



岡谷商工会議所
中小企業相談所
所長 杉本 晋太郎様

1. 徳本薬草のまち岡谷について (平成24年3月21日撮影)


混迷の戦国時代、江戸初期を世の為人の為に生きた、名医、薬草の大家



- ◎牛にまたがり「徳本薬草」と書いた薬袋を背にかけて診察に出掛け、貧しい人々に無料で薬を与えたり、安徳で診療、人々を助けました。
- ◎1625年に將軍徳川が、大岡にかり多の邸を築き、いろいろな薬をすすめても効果があつたので、必ず多の邸の御前を奉事と見限り、医監徳本先生の処方する薬でたちまち全快したそうです。薬代は一兩18文の計算で受け取ったので、ますますその名を挙げました。「徳本薬草」の伝説にもつながります。
- ◎異なる変異薬草でなく、人間の生死について深い見識があつた。
- ◎三河出生説に拠れば、鎌倉幕府討つた長祿殿政の子孫である長田重元の弟とされ、先達の秀忠重頼の弟忠徳(書院番)であつた永井重隆(重元の息子、改姓)の叔父に当たる。
- ◎特異の女中3人の逸話、資料・種を江戸の病人のために持たせました。
- ◎かかりつけの娘さんのお葬式から一命を奪い、徳元長に精通していました。
- ◎山野をめぐり薬草を探知しながら研究するために、植物学にも精通し、(徳本)や種し木、種づりの方法を発明して村人に教えたのが、今日の甲州ぶどうの産地につながっています。蘭館のカリンの伝説もあります。種、地に纏わるお砂糖の話もあります。
- ◎友人林儀時の子である、若き日の(徳本)は江戸初期の本草学漢学者、本草、養生、薬学の4代を弟子としていたが、真山の非凡なる素質を認めて他の職に就むよう勧めたといわれる。
- ◎1630年に118歳の長寿で歿した。2013年(平成25年)生誕500年。
- ◎お弟子(約50人)の一人に徳仙、子孫に徳岡谷市長
- ◎(ハンセン病)・梅毒(感染症)各種の社則下剤発汗剤。「薬は毒ありて薬しよらし」

●プロフィール

- 1513年(永正10年) 三河國大浜に生まれる。(現在の愛知県豊橋市)。
- 1521年(大永元年)~1531年(享禄4年) 少年期に常陸の鹿島に行き、徳丸夢を師として、神田社(呼称のこと)を学ぶ。後、玉圃に就いて医術として名高い河津道人(明の儒化人)に医術の奥義を受ける。古来の田舎に響いて医術を学ぶ。徳丸(明の漢方医学、現在の日本漢方医学の元)を信奉し、独自の処方法を研究した。甲斐の武田信虎・信玄の侍医となる。
- 1541年(天文10年) 難病で通じた40年余が円熟期。徳仙の漢方薬を伝承して移住する。弟子衆家に滞在し、その説と結核する。
- 1582年(天正10年) 京都の名医、曲直瀬三らと往來する。甲斐に帰る。
- 1615年(元和元年) 難病にてぶどうの種付け法を発明
- 1625年(寛文5年) 徳川二代將軍秀忠の大病を平癒させる。
- 1630年(寛永7年) 2月14日東郷村で死去。



ニコニコボックス

井上保子・尾関秀雄・北澤洋之介・北村正春・佐藤有司・杉田隆夫・濱 透・林靖高・原 史郎・藤森睦美・宮坂 伸・宮坂宥澄・矢島 實・山岡正邦・山崎典夫 武井末子さん卓話をよろしくお願いします。

笠原祥一 本日で退会します。皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

濱 俊弘 写真をありがとうございました。

高木昭好 会社創立48年を迎えます。順風とは言い難い年月でしたが、どうにか乗り越えて来たかなと、次代へつなぐ時期を模索しています。

出席報告

会員数46名、出席者36名、出席率85.71%、前々回訂正48.72%

2011-2012 年度 R I テーマ
こころの中を見つめよう
博愛を広げるために
Reach Within to Embrace Humanity

